



- 3/26 (土) ~ 4/6 (水) 9:00 ~ 17:00
米子市児童文化センター (火曜休館)
- 4/10 (日) ~ 4/30 (土) 9:00 ~ 17:00
鳥取県立人権ひろば21 ふらっと (4/29 祝日休館)

■事務所移動のお知らせ

6月頃、鳥取県生活協同組合の本部が第1支所(岩吉)から第3支所(河原)へ移転するのに伴い、鳥取県ユニセフ協会の事務所も移動します。

■鳥取県ユニセフ協会のホームページ開設について

この春に鳥取県ユニセフ協会のホームページを開設する予定です。

詳しくは、次回通信等でお知らせいたします!!

ボランティア募集!!

鳥取県ユニセフ協会の活動は、すべてボランティアの方によって支えられています。一緒にユニセフ活動をしてみませんか。みなさまのお力をおまわしています!!

入場無料

気候変動、森と生きものがきえる問題
食料と水の不足、戦争、難民
児童労働、貧困、格差など、
いま地球上で起きている問題と、
それに巻き込まれている世界の子どもたちの話が
私たちの暮らしとどのようにつながっているのかをお伝えします。
これらの問題はすべて 命をまず一番に考えていたら、
起きなかったと思うことばかり。
もったいないばあさんといっしょに考えていきましょう。

[今後の活動予定]

- 第5回 役員会
4月19日(火) 14:00 ~ 16:00
(鳥取大学 広報センター)
- アースデイ空山 2016 参加
4月23日(土) 11:00 ~ 15:00
(鳥取市 空山ポニー牧場)
- ラブウォーク in鳥取
5月22日(日) 10:00 ~ 12:00
(倉吉市)
- 夏休みユニセフ学習会
7月末 ~ 8月初
鳥取・米子で開催予定

賛助会員募集!

日本ユニセフ協会と各協定地域組織の活動を賛助会費によってご支援いただく方法です。現在、鳥取県でも多くの賛助会員の方に協力いただいています。鳥取から世界の子どもたちを支えましょう!!

種類	対象	賛助会費
一般賛助会員	個人	一口 5,000円
学生賛助会員	学生(18歳以上)	一口 2,000円
団体賛助会員	団体、法人、企業	一口 100,000円

賛助会員期間は、入会日より1年間です。賛助会費は寄付金控除の対象になります。一般・学生賛助会員は個人名でのお申込みに限ります。

■ユニセフライブラリー

ユニセフの活動を紹介するビデオ・DVD・パネル・学習教材等の貸出しを行っています。

■ビデオ・DVD

「ユニセフと地球のともだち」「すべての子どもに教育を」「シユンシユン-子どもたちからのメッセージ」など

■パネル

「ユニセフってなあに」「わたしも学校に行きたい」

■学習教材

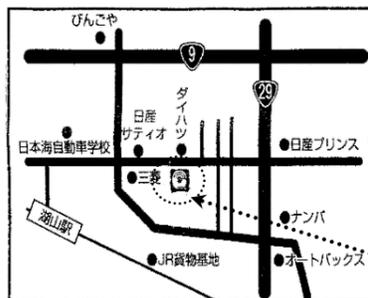
「地図でユニセフ」「地球のともだちユニセフワークブック」
幼児向け絵本「ちきゅうからのしつもん」など

■展示ツール

ネパールの水がめ、マラリア対策の蚊帳、経口補水塩など

鳥取県ユニセフ協会

〒680-0931
鳥取市岩吉175-4 鳥取県生協内
TEL : 0857-30-4535
FAX : 0857-31-3330
E-Mail : unicef-tottori@juno.ocn.ne.jp



ボランティア登録、資料貸出、その他お問い合わせ等は、事務局までご連絡ください。また、どなたでもお気軽にお立ち寄りください。

月・火・金 10:00~16:00
水 10:00~12:00

鳥取県生協本部1階内になります!

とっとりユニセフ通信

vol. 6
2016年3月

unicef Report ▶▶▶ 世界の子どもたちは今...

東日本大震災 緊急・復興支援



レジリエントな社会を、子どもたちと。

「復旧」ではなく、「復興」~ 震災前より、良い状態に (Build Back Better)

「あの日」から5年。日本ユニセフ協会は、ユニセフ本部や協力企業・団体などの協力を得て、震災発生直後から緊急・復興支援活動を続けています。「あらゆる自然災害で、もっとも困難な状況におかれてしまうのは子どもたちというユニセフの緊急時対応指針に則ってスタートした活動。レジリエントな社会、子ども達にやさしいまちづくりをめざして、「心理社会的ケア」、「子どもの保養」、「子どもにやさしい復興計画」の各分野で、活動を続けています。

■ 65年ぶりの日本への支援

2011年3月11日に発生した東日本大震災。ユニセフは65年ぶりに日本へ支援を開始しました。2014年12月31日現在で国内から約35億円、海外から約12億円の募金協力を受けています。震災発生から6か月間は緊急支援として飲料水・子ども用医療・衛生用品などの支援物資の調達、母子保健事業の支援、心理社会的ケア、学用品等の提供、栄養保健事業、「子どもバス遠足」などを行いました。その後復興支援として保育士派遣支援、児童福祉施設再建支援、保健支援から始まり、現在も3つの分野を中心に支援を行っています。

子どもたちが安心して戻れる、子どもたちにとってやさしい「地域」への復興へ

● 心理社会的ケア

子どもたちに、安心して遊べる空間の確保や、保育園や幼稚園の先生方のサポートという形でスタートしました。現在も、地元の体制づくりのための支援と、心理ケア専門家等による直接的な支援の2つの形を継続しています。

● 子どもの保養

子どもたちを支える立場にいらっしゃる方々の不安やストレスが、子育てに暗い影を落とすことがないように、また、震災前から少子高齢化が進んでいた多くの被災地で、地域に根差した子ども支援・子育て支援の体制が構築されるよう支援を続けています。

● 子どもにやさしい復興計画

“復興まちづくりの主役は子どもたち”という、子どもたちが主体的に新たな故郷をつくり上げることを真の復興とする考えのもと、子どもの元気・成長、ふるさと復興牽引を目的として支援しています。

緊急・復興支援における6つの取り組み



■ 子ども遊び塾 ~子どもが「遊び」をつくる~

福島県ユニセフ協会と福島県生活協同組合連合会、福島大学災害復興研究所は東日本大震災発生直後から「福島子ども保養プロジェクト」を企画し、“外遊び”の機会を提供してきました。そしてこれからも中長期的に継続されていくため、“拠点”となる「こども遊び塾」が、2015年6月28日、猪苗代町の沼尻県有林で開校しました。

「こども遊び塾」は、自然の景観を生かしながら、木に登ったり、何かものを創ったり…。落ち葉やどろんこや自然の素材を使って、自分のやってみようと思えることを実現していく遊び場です。周囲のおとなも、子どもたちの行為を“危険だから”とか“不適切だから”などの理由で禁止するのではなく、一緒に考えてやってみる場所。

子どももおとなも、のびのびとおもいっきり遊べる永遠に完成しない遊び場が誕生しました。



©日本ユニセフ協会

活動報告

● 2015/11/29(日)
とっとり市民活動フェスタ



水がめの重さ当てや
経口補水塩の中身当て
などのクイズに挑戦
してもらいました。

● 2015/12/6(日)
くらし国際フェスティバル



● 2016/3/6(日) かぶりあ祭



国旗カードの神経衰弱

ユニセフすごろく



3.11 東日本大震災における緊急支援報告の展示も行いました。

学習会あれこれ

鳥取県ユニセフ協会では、学校をはじめユニセフ活動に関心がある各団体等に出向いての出前授業や、ボランティア向けの学習会を行っています。実際にユニセフが支援している物資の実物を見ながら、ユニセフ活動の学習をしています。詳しくは、事務局までお問合せください。

■ 学校での出前授業 ～知ろう 考えよう 行動しよう～



<日吉津小学校>

出前授業をさせていただく学校が少しずつ増え、3学期に入って、1/13(水)に日吉津小学校 6年生47名と名和小学校福祉委員会8名、2/25(木)に鳥取聾学校ひまわり分校 3年生2名が学習しました。
ユニセフの言葉を聞いたり募金をした経験はあるが、詳しくユニセフのことを知るのは初めてという子どもたちがほとんどでした。世界の子どもたちの現状やユニセフの支援活動をDVDで観て、自分たちの暮らし(衣食住)とあまりにも違うことに驚いていました。水がめを運んだり、経口補水塩を試飲したり、蚊帳に入ったり、どこでも学校が開設できる学用品一式の入ったトランクを見たりと体験活動をしながら学習を深めました。子どもたちはとても真剣に学び、最後に自分たちにできることを考えました。



<名和小学校 福祉委員会>

出前授業をきっかけにもっと世界にも目を向け、自分たちにできることを考え行動につなげてほしいと願っています。

生徒の感想

当たり前とと思っている生活を常にふり返りたい / 学んだことを広めていきたい / 自分でできることを見つけて、1人でも多くの人を助けたい。



<鳥取聾学校ひまわり分校>

◆鳥取県生協 東部

「すべての子どもに5歳の誕生日を」

◆ガールスカウト鳥取県第1団



出前授業に行った
会見第2小学校も参加!!

ハンド・イン・ハンド募金、
ご協力ありがとうございました。
募金額は、総額
52,973円となりました。

■ ユニセフ写真展

～ 長谷部誠選手が見た、感じた「レジリエンス」～

- 2016/1/13 (水) ～ 1/19 (火) 倉吉未来中心
 - 2016/1/23 (土) ～ 1/25 (月) イオン日吉津店
 - 2016/1/28 (木) ～ 2/9 (火) とりぎん文化会館
- インドネシア スマトラ島沖大地震発生から10年。ユニセフの活動に賛同し、マンスリーサポーターとしても支援を続けるプロサッカー選手、長谷部誠さんが被災地を訪問。ユニセフの復興支援活動と成果を伝える写真展を県内3カ所で開催し、たくさんの方々にご来場いただきました。



■ ユニセフパネル展

「ユニセフってなあに?」

- 2016/1/4(月)～31(日)
鳥取県立人権ひろば21 ふらっとにて開催していただきました。



【会議】

- 第4回 役員会
2015/11/19(火)
鳥取大学
広報センター
- 事務局長会議
2016/2/18(木) ～ 19(金)
日本ユニセフ協会 ユニセフハウス



■ ボランティア学習会 2016/1/19(火)

ボランティア向けの学習会として、出前授業を実際に体験しました。



(感想) 子どもたちに分かりやすくユニセフに興味を持ってもらう工夫がみられ、私自身も何かお手伝いできたかなと思いました。

■ 鳥取県生活協同組合 ユニセフ学習会

- 2015/11/30(月) 西部エリア会
「ハッピー♪クッキークリスマス&ユニセフ報告会」
- 2016/1/13(水) 東部エリア会
「ユニセフ学習会」

ユニセフ報告会では「フォトランゲージ」を行ないました。フォトランゲージとは、写真を読み解く参加型学習会で、自分一人では思いつかないことでも、何人かで話し合うことで他者の発想を共有したり、また、無意識のうちに持っている偏見や固定観念に気づき、人の立場に立って共感することを学ぶ「じぶん発見」の時間でした。



ユニセフニュース vol.245 から子どもたちを取り巻く現状をクイズで出題、その後グループで自分たちができることを考えました。

■ ガールスカウト向け 出前学習会

- 2016/1/31(日) ガールスカウト鳥取県第1団



前半は、「いのちの水」のワークブックを使い、水がめ体験も入れながら、「水」をテーマに学習をしました。

後半は、「児童労働」をテーマに「インドの紙袋作り」を体験し、世界の子どもたちの状況についての理解を深めました。



- 2016/2/21(日) ガールスカウト鳥取県第3団
2/22のワールドシンキングディに合わせて、特に今、大きな問題となりユニセフでも支援を行っている「シリア難民」をテーマに学習をしました。難民の子どもたちのことを少しでも感じ、考えることができるようワークショップをしたり、避難所や今の気持ちを話している難民の子どもたちの動画を見られました。

* 2/22は、世界中のガールスカウトがワールドシンキングディをお祝いします。シンキングディは国や地域を超えた友情を祝い、重要な課題について学び、行動を起こす日です。



子どもの感想：
私がいろいろな面で恵まれている事を知って、物を大切にすること、思いやりの気持ちを誰にでも持つことが大事だと思いました。